

農時新聞

2012年
(平成24年)

7月10日

火曜日

創刊号

(毎月10日発行)

旬・感・印・刷

新聞印刷/商業印刷/DTP

品質とスピードをモットーに

株式会社 日刊スポーツ印刷社

〒104-0045 東京都中央区築地7-8-5

電話：03-5550-8210・8211

http://www.nikkansp.co.jp/

23 ▶加須で漢方未来米の田植え
▶夏休みは親子でバンガローを作ろう

4 ▶「ひと」並木 源榮さん
▶読者プレゼント

発行所 〒346-0016 埼玉県久喜市久喜東2-4-1(株)フジハウジング内 TEL0480-26-4568 FAX0480-21-0970

おいしいお米を作ろう



農業生産法人・誠農社が田植え

昨年の3・11以降、日本人の価値観が変わったと言われている。モノの豊かさよりも潤いを、拝金主義よりも絆を、効率よりも安全・安心・安定が一番大事だと実感し始めた。今、日本のあちこちで、こんな空気を察知したのか、「農」への回帰現象が出てきた。背景には、原発事故後の食への関心の高まりのほか、ライフスタイルの見直しに伴う農への憧れ、自給自足、地域再生振興策といった要素がある。それに環太平洋経済連携協定(TPP)の影響で強い農業を確立することで新しいビジネスチャンス到来と捉える向きもある。いずれにしても自然を友とする農にスポットライトが当たってきた。

3・11以降に進む「農」への回帰現象

んな思いから立ち上がったグループのひとつだ。「健康でおいしいお米をつくらう」と5月には埼玉県加須市の自前の田んぼ約1畝で田植えを行った。米づくりの指南役は、全国米づくりコンクールで5年連続して金賞に輝いた福島県郡山在住の古川勝幸さん(55)。同氏は、農業を一切使わず漢方薬でコンヒカリを生産する技術を確立、今やコンヒカリの名人としてその名は全国に轟くほど有名。この日集まった老若男女約50人は、名人・古川さんから苗植えのコツなどを教わったあと、「冷たい」「滑りそう」などと歓声を挙げながら田んぼに進入。約20秒に育ったコンヒカリの苗を30秒間隔で丁寧に植えるなど田植えを楽しんだ。誠農社によると稲穂が黄金色に輝く10月頃には地域の人たちを招待しての収穫祭を計画したいとしている。

オールイベント
ALLEVENT

ビジネス

農業体験

トラベル

コンサート

イベント

パーティー

無料から始められるイベント告知サイト
あなたの企画で地域を元気にしよう!

<http://all-event.net/>

せいとうしゃ
誠農社で



一緒に

はい!

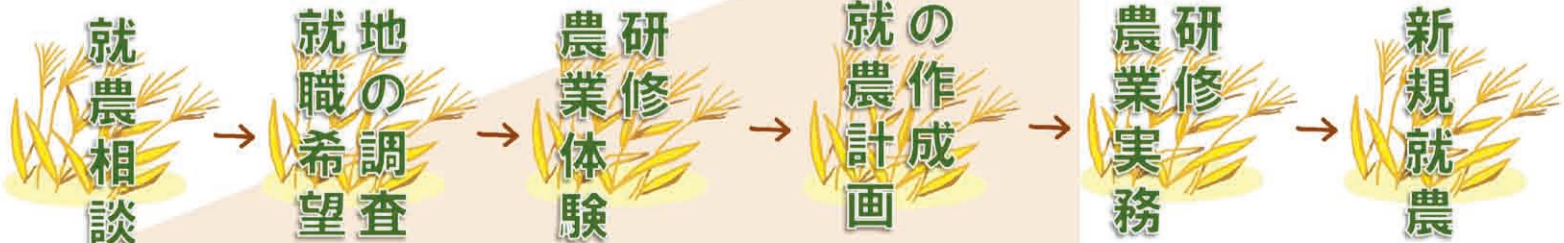


ええ米
作ろうな

農業をはじめたい...
そんなあなたを応援します。

- 農地の確保
- 住宅の確保
- 施設・機械の確保

資金の
借入等



●短期農業体験

●農業体験研修

●農業実務研修

農業生産法人
se-nou-sha
(株)誠農社
埼玉県加須市油井ヶ島1393-1

お問合せ
tel 0480-53-4651
fax 0480-53-4652

「久喜れんげ祭り」生みの親 並木 源榮さん(68)



「皆の気持ちをひとつにまとめるには祭りが一番だと思って始めたんだが、24年も続くとはい...」嬉しそうに語るのは久喜市名物「れんげ祭り」の生みの親・並木源榮氏。

会場となっている所久喜一帯は、元々は農家の集落。並木氏によると今から30年前の昭和50年代は「48戸の集落中、40戸は農家」。それが昭和60年代以降の急速な久喜市のベッドタウン化に伴い離農者が急増。今や農家は同地区約120戸中の20戸程度。以前のムラ社会が街に変わって最大の変化は絆の欠如、コミュニティの不足。これを憂った並木氏が一念発起、昭和60年の春に、れんげが咲き誇る広大な自前の田んぼの一部を田植えの前、地元の子どもたちに開放、れんげの中で隠れんぼ遊びなどを始めた。

これが評判となり、平成元年の時、市や商工会、農業委員会などが中心となって実行委員会を結成する現在のスタイルに発展。祭りの内容は、地元農業者による手打ちうどんや餅の模擬店、地元伝統芸能の披露、歌謡ショー、フリーマーケットなど多彩。毎年4月29日に開催、市内全域から若者男女2万人が来場するほど。昨年は3・11の影響で祭りを中止したため、今年は初めて29日と30日の2日間開催。「復興の祈り」や「ご当地C級グルメ出店」も企画し、人出も倍増、好評を博した。

並木氏は「市民がこの祭りが定着したのが嬉しい。1000円持っていれば1日中楽しめる祭りをさらに発展させた」と抱負を語る。

半農家の人々



創刊記念 読者プレゼント

本紙では農時新聞創刊を記念して読者プレゼントを行います。紙面の中にある商品①～④の中から希望商品を選び、別項の応募要領に沿ってはがき&X-1で申し込んでください。

①漢方未来米(5ギ) 〇リッパ 〇5名様
1711年の創業から30名様

②日本酒「天陽」(72) 〇クオカード(3000)



④農園サークル(入園料1年間無料) 〇3組

円相当 〇5名様
本紙特製のクオカードです。

農業生産法人・誠農社が須市油井ヶ島地区で所有する24画地中の3区画を今年8月から1年間無料で農業体験ができるようになります。



応募要領

あなたが希望する商品の番号をはがきに記入のうえ、本紙の感想、今後取り上げてほしいテーマと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、〒346-0016久喜市久喜東2-4-1フジタビル内「農時新聞創刊読者プレゼント係」まで郵送ください。希望者多数の場合は抽選で当選者を決定。商品の発送等をもって発表に代えさせていただきます。また「和歌」の投稿はハガキに2句までお書きのうえ、上記「和歌係」へ。

久喜・加須の年中行事

【7月】

【久喜】提燈祭り 〇12日と18日。7町内から7台の山車が繰り出され、昼間は神話などか題材を取った人形を山車の上に飾り立て、町内を曳き廻します。

【加須】加須夏祭り 〇14日、15日。午後5時～9時30分。加須駅北口周辺。江戸時代から続く伝統ある夏祭り。1日目は神輿が町内を練り歩き、2日目は山車の曳き廻しが行われます。両日とも夜8時頃からがピークとなります。とくに各町内の山車が集合し太鼓の叩き合いは迫力満点です。

バブルが終わって

不動産価値は「ロケーション」から「マネジメント」に移行しつつある。1929年の大恐慌でアメリカのホテルの85%が倒産した時代にホテルを買った人、すべてが繁盛し、ホテル主になったビルトンにある男が質問した。「あなたが購入したホテルのすべてが、繁盛していますか、その秘訣は何ですか。」彼はこう答えた。

住宅不動産 よもやま話

「ロケーション、ロケーション、ロケーション、ロケーション(意識) 立地がすべて」 私たち不動産屋が死ぬでも忘れてはならない言

だから更地としての保有が、コストが少なく有利だとの通説だった。しかしバブル崩壊後、正反対で、キャッシュフローがある複合不動産(収益ビル等の建物付き土地)の評価が高くなった。

これは、不動産の評価基準が立地から経営に変更になったと考えられる。自用資産から活用(営業)資産の変化である。モノからヒトへ、所有から経営、物権から債権、売買から賃貸・管理への大きな流れの変化の事例は次号からの話に譲るが、最後に一言、『経営者にあらずば、不動産はリスク資産にならん。』

パブル前の土地神話の時代には、当然土地に建物が建てられていると賃借の権利が付与されるので立退き等に相当費用がかかり、買主の土地利用にマイナスの効果があったと考えられていた。

パブル前

パブル前

パブル前

パブル前

パブル前

パブル前

パブル前

パブル前

心地よい時空間の提供...

ゴルフスクール毎日開催 ~1週間61教室~ 200ヤード・74打席

バンカー・パター練習場
ゴルフショップ
クラブ修理
レストラン

充実

岩槻オルゴゴルフガーデン

年中無休 営業時間5:30~23:00
http://www.allgo-gg.co.jp/

〒339-0077 さいたま市岩槻区馬込1125-1

TEL 048-758-0055

